

平成 2 5 年 度  
事 業 報 告 書

一般社団法人 日本工業用水協会

# 事業報告書目次

1. 会 務 .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	1
(3) 理事会 .....	3
(4) 監事会 .....	5
(5) 協会運営委員会 .....	5
2. 工業用水道事業の推進.....	7
(1) 平成26年度工業用水道事業施策に関する要望 .....	7
(2) 工業用水道の更新・耐震化事業に対する継続的な国の措置に関する要望.....	7
3. 事 業 .....	7
(1) 調査研究業務 .....	7
(2) 出版に関する事業 .....	12
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業.....	14
(4) 受託調査等.....	14

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

平成26年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	25年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	145	0	11
事業者	123	0	4
利用者	22	0	7
特別会員	49	2	2
関連産業会員	41	0	1
計	235	2	14

顧問：4名（内特別会員が3名）

### (2) 総会

#### (2) . 1 臨時総会

日 時 平成25年4月25日（木）10：30～11：00

場 所 東京都千代田区三崎町3-6-15 内海ビル 101会議室

会員数 247会員（平成25年4月1日現在）

出席会員数 会長（代理） 愛知県企業庁杉浦技術監 ほか

出席会員 4社員

代理出席会員 23社員

委任状提出会員 117社員

議決権行使会員 45社員

計 190社員

#### 概 要

業務執行理事の芳田専務理事から、会長代理の愛知県企業庁杉浦技術監を議長として提案し、出席会員全員から異議なしの発言があり、杉浦技術監が議長に選出された。

議長から、議事の開会宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、臨時総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人の選任について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、理事の一般財団法人造水促進センター秋谷常務理事、株式会社クボタパイプシステム事業ユニット藤澤担当部長を議長から指名した。

議長の求めにより、芳田専務理事から現役員の現職退任等に伴う理事辞任による、後任の理事6名の選任を求めた。

議長は、役員候補者ごとに決議を行い、それぞれ異議なくこれが承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 丹羽 健一郎 殿、吉田 雅一 殿、大久保 幸雄 殿、  
山田 聖一 殿、竹原 千裕 殿、坂本 美智雄 殿、

(2) . 2 第1回定時総会

日 時 平成25年6月4日(火) 14:00～16:30

場 所 東京都文京区湯島1-7-5 東京ガーデンパレス 3階 平安の間

会員数 249会員(平成25年5月15日現在)

出席会員数 会長(代表理事) 愛知県丹羽企業庁長 ほか

出席会員 7社員

代理出席会員 35社員

委任状提出会員 111社員

議決権行使会員 40社員

計 194社員

来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官

ほか1名

総務省公営企業経営室 笠井課長補佐 ほか1名

国土交通省水資源政策課 新屋課長補佐

関東経済産業局企業立地支援課 萩野係長

(公社)日本水道協会工務部 木村次長

(一社)日本水道工業団体連合会 須納瀬事務局長

次 第 会長挨拶

来賓祝辞

会長表彰

議 題

I 議案

第1号議案 平成24年度事業報告書(案)

第2号議案 平成24年度会計収支決算報告書(案)及び監査報告書並びに公益目的支出計画(案)

第3号議案 会費等に関する規程変更(案)

第4号議案 総会運営要領(案)

第5号議案 理事2名の選任(案)

II 報告事項

(1) 組織等の見直し委員会報告

(2) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成24年度活動報告

(3) 平成26年度工業用水道事業施策に関する要望事項

講演 日本上下水道設計(株)大嶽様、関様

概 要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省照井地域経済産業審議官、総務省佐藤自治財政局長、国土交通省水管理・国土保全局小池水資源部長のご祝辞を賜った。この他にご来賓としてご出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞10名、勤続賞97名の内、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

丹羽会長が議長となり、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、茨城県大久保企業局次長、前澤工業(株)若林部長を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、芳田専務理事が説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。

最後に、日本上下水道設計(株)大嶽様、関様から「工業用水道施設更新・耐震対策・アセットマネジメント指針 ～指針概要～」について講演が行われた。

### (3) 理事会

#### (3) . 1 第1回理事会 (書面決議) 4月2日(火)

定款第36条(理事会の決議の省略)に基づき、役員に対し芳田専務理事名で、臨時総会招集に係る書面決議を提案し、4月8日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

#### (3) . 2 第2回理事会 (書面決議) 4月25日(木)

定款第36条に基づき、役員に対し芳田専務理事名で、代表理事選定に係る書面決議を提案し、5月7日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。代表理事は、次のとおり。

代表理事 会長 丹羽 健一郎 殿  
副会長 吉 田 雅 一 殿

#### (3) . 3 第3回理事会

日 時 平成25年5月15日(水) 13:30~16:00

場 所 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 (TKP お茶の水カンファレンスセンター  
3階 会議室)

出席者 会長(代表理事) 愛知県丹羽企業庁長 ほか

理事11名(総数13名、平成25年5月7日現在)

監事 2名(総数 3名、平成25年5月7日現在)

来 賓 経済産業省産業施設課 狩野課長補佐 ほか1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

##### I 議案

第1号議案 平成24年度事業報告書(案)

第2号議案 平成24年度会計収支決算報告書(案)及び監査報告書並びに公益目的支出計画(案)

第3号議案 入会の承認(案)

第4号議案 顧問の承認(案)

第5号議案 会長表彰受賞候補者の選考(案)

第6号議案 会費等に関する規程変更(案)

第7号議案 総会運営要領(案)及び役員を選定方法について(案)

第8号議案 平成26年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施(案)

第9号議案 平成25年度第1回定時総会招集及び議題並びに議案概要(案)

##### II 報告事項

(1) 組織等の見直し委員会報告

(2) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成24年度活動報告

(3) 平成25年度のこれまでの事業経過報告

##### 概 要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課狩野課長補佐のご挨拶を賜り、次に同じく産業施設課担当官の紹介を行った。

丹羽会長が議長となり、理事会成立の報告に引き続き、各議案についてそれぞれ事務局に説明を求め審議が行われ、すべて原案どおりに了承された。

(3) . 4 第4回理事会（書面決議） 5月20日（月）

定款第36条に基づき、役員に対し芳田専務理事名で、第3回理事会提出の第6号議案（会費等に関する規定変更（案））の一部について訂正する必要が発生したため、書面決議を提案し、5月20日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 5 第5回理事会（書面決議） 6月4日（火）

第1回定時総会で理事に選任された下記2名について、定款第36条に基づき、役員に対し芳田専務理事名で、代表理事（副会長）、業務執行理事（専務理事）選定に係る書面決議を提案し、6月10日までに、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。選定された代表理事等は次のとおり。

代表理事 副会長 弘 中 勝 久 殿  
業務執行理事 専務理事 本 郷 秀 昭

(3) . 6 第6回理事会（書面決議） 6月21日（金）

定款第36条に基づき、役員に対し丹羽会長名で、芳田前専務理事に係る退職手当支給について、本人の辞退申し出により支給額「0円」とする提案を行い、7月10日までに、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 7 第7回理事会（書面決議） 8月26日（月）

平成26年度施策要望実施後、経済産業省が工業用水道更新・耐震化事業補助金に係る概算要求を実施しないことが明らかとなった。これについて福島県から要望活動を実施すべきとの提案があり、定款第36条に基づき、役員に対し本郷専務理事名で、下記議案について、福島県からの提案書を付して、要望事項及び理由も提示し提案をし、9月20日までに、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

- 第1号議案 工業用水道更新・耐震化事業補助金に係る国の要望措置を求める要望活動の実施について  
第2号議案 工業用水道更新・耐震化事業補助金に係る国の要望措置の事項、理由及び内容について  
第3号議案 要望書の記載内容の決定について正副会長にご一任いただくことについて

(3) . 8 第8回理事会

日 時 平成26年1月21日（火） 14:00～15:10

場 所 東京都千代田区神田駿河台3-11-1

（TKP ガーデンパレス御茶ノ水 2階会議室）

出席者 会長（代表理事） 愛知県丹羽企業庁長 ほか

内理事10名（総数13名、平成26年1月10日現在）

監事 3名（総数 3名、平成26年1月10日現在）

来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

I 議案

第1号議案 平成26年度事業計画（案）

第2号議案 平成26年度収支予算書（案）及び平成26年度正味財産増減予算書内訳表（案）

## II 報告事項

- (1) 日本工業用水協会常勤役員の人事について経過報告
- (2) 会誌「工業用水」等の編集方針について経過報告
- (3) 平成25年度のこれまでの事業経過報告

### 概要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課狩野課長補佐のご挨拶を賜り、次に同じく産業施設課担当官の紹介を行った。

丹羽会長が議長となり、理事会成立の報告に引き続き、各議案についてそれぞれ事務局に説明を求め審議が行われ、すべて原案どおりに了承された。

## (4) 監事会

日時 平成25年4月25日(木) 13:30～14:30  
場所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 福島県企業局 水野工業用水道課長  
岡山県企業局 肥塚企業局長  
大成機工(株) 鈴木代表取締役社長

### 概要

定款第24条(監事の職務及び権限)に基づき、監事会で監事による平成24年度事業報告、会計収支決算報告の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

## (5) 協会運営委員会

### (5) . 1 第1回協会運営委員会

日時 平成25年4月25日(木) 11:00～12:00  
場所 東京都千代田区三崎町3-6-15 内海ビル 301会議室  
出席者 委員長 愛知県企業庁杉浦技術監 ほか21名  
来賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか1名  
次第 開会  
委員長・副委員長の選任  
議題

- 1) 委員会設置要領(案)について
- 2) 平成24年度「組織等の見直し委員会」報告について
- 3) 総会等の運営について
- 4) その他

### 概要

芳田専務理事の開会の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官、福井係長を紹介後、委員長に愛知県企業庁杉浦技術監、副委員長に千葉県企業庁神子管理・工業用水部次長を選任した。

委員長から挨拶のあと、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、「組織等の見直し委員会」最終報告は、当該委員会においても原案どおり了承され、原案どおりで提出することとした。「総会運営等に関するルール化の考え方」については、原案どおりの考え方に基づいた文案を事務局から、各委員に示し、調整後、理事会へ提案することとした。

### (5) . 2 第2回協会運営委員会

日時 平成25年7月12日(金) 15:00～16:00

場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 愛知県企業庁杉浦技術監 ほか16名  
来 賓 経済産業省産業施設課 狩野課長補佐 ほか1名  
次 第 開 会  
議 題

- 1) 前回議事録(案)について
- 2) 運営委員会検討事項の経過報告について
- 3) 今年度の今後の運営委員会検討事項(案)について
- 4) その他

#### 概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課狩野課長補佐、福井係長を紹介後、委員長の愛知県企業庁杉浦技術監から挨拶のあと、次第に従い議題の検討に入った。

前回議事録の確認後、議長からの要請に基づいて各議題について事務局の説明を行い、引き続きそれぞれの審議が行われた。

会員名簿については、今後電子版を協会ホームページに掲載する場合の掲載方法、広告料等の検討結果を次回報告することとした。

専務理事の外部招聘のあり方については、事前に正副会長県と事務局で素案を検討し、次回報告することとした。

#### (5) . 3 第3回協会運営委員会

日 時 平成25年12月18日(水) 14:00~16:00  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 愛知県企業庁杉浦技術監 ほか16名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか1名  
次 第 開 会  
議 題

- 1) 前回議事録(案)について
- 2) 第8回理事会提出議案について
  - (1) 平成26年度事業計画(案)
  - (2) 平成26年度収支予算書(案)及び平成26年度正味財産増減予算書内訳表(案)
  - (3) 平成25年度のこれまでの事業経過報告(案)等
- 3) 日本工業用水協会常勤役員(専務理事)の人事について
- 4) 理事会終了後の意見交換について
- 5) その他

#### 概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官、福井係長を紹介後、委員長の愛知県企業庁杉浦技術監から挨拶のあと、次第に従い議題の検討に入った。

前回議事録の確認後、議長からの要請に基づいて各議題について事務局の説明を行い、引き続きそれぞれの審議が行われた。

第8回理事会提出議案については、報告事項の一部について修正を行うこととし、それ以外については、原案どおりで了承された。また、理事会終了後の意見交換については、事前に関係者から案件を照会し、必要に応じて実施していくこととした。

## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 平成26年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成25年7月12日(金) 13:10～

参加者 会長 愛知県丹羽企業庁長 ほか12名

概 要

第3回理事会で承認された要望事項について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局へ要望を行った。なお、経済産業省では要望団と渕上産業施設課長、浜野工業用水道計画官、狩野課長補佐等との意見交換を行った。

### (2) 工業用水道の更新・耐震化事業に対する継続的な国の措置に関する要望

日 時 平成25年10月28日(月) 13:30～

参加者 会長代理 愛知県企業庁杉浦技術監 ほか8名

概 要

第7回理事会で承認された要望事項について、正副会長、役員(監事、東京近郊の理事)、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省へ要望を行った。

なお、要望に当たっては、要望等の主旨を説明した後、河村大臣官房審議官、渕上産業施設課長、浜野工業用水道計画官、狩野課長補佐等との意見交換を行った。

## 3. 事業

### (1) 調査研究業務

#### (1) . 1 工業用水道事業研究大会

日 時 平成25年11月7日(木)、8日(金)

場 所 大分市内 レンブラントホテル大分

出席者 150名

来 賓 経済産業大臣官房 河村審議官  
経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 廣澤室長 ほか1名

概 要

開会挨拶の後、大分県坂本公営企業管理者から歓迎の挨拶があり、次いで経済産業省河村審議官並びに総務省廣澤公営企業経営室長から来賓の挨拶を頂いた。続いて、大会の運営方法について事務局より報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題Ⅰの「更新・耐震への対策・対応状況」の取組について、大分県企業局池崎工務課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで秋田県、大阪広域水道企業団、神戸市から事例紹介が行われた。続いて、午後の最初に経済産業省浜野工業用水道計画官から「災害時における工業用水の有効活用について」と題して講演が行われた。引き続き、指定課題Ⅱの「施設の維持管理の対策・対応状況」について、北九州市上下水道局谷計画課長が座長となって進められた。最初に午前の課題について事前質問等をもとにした質疑、意見交換が行われ、引き続き指定課題Ⅱのアンケート結果を報告、次いで栃木県、新潟県から事例紹介が行われ、事例紹介、事前質問等で質疑、意見交換が行われた。引き続き、自由課題Ⅰ～Ⅲについて、事務局からアンケート結果の報告を行い、自由課題Ⅰ～Ⅲ

に関する、事前質問等をもとにした質疑、意見交換が行われた。また、経済産業省、綾顧問から意見等を頂いた。

午後の後半は、指定課題Ⅲの「新会計基準への対応状況」について、熊本県企業局木村総務経営課課長補佐が座長となって進められた。指定課題Ⅲのアンケート結果を報告し、続いて和歌山県、愛知県から事例紹介が行われ、事前質問等をもとに質疑、意見交換が行われた。引き続き自由課題Ⅳ～Ⅵのアンケート結果を事務局から報告し、自由課題Ⅳ～Ⅵに関する事前質問等をもとに質疑、意見交換が行われ、最後に経済産業省、総務省、綾顧問の意見、アドバイス、講評等を頂いた。

最後に来年度開催地の福山市上下水道局経営管理部藤井企画総務課主査から引き受けの挨拶を頂いた。

2日目は、この大会では初めてとなる工業用水道施設の視察、受水企業の視察を、大分県企業局等のご協力を頂き実施した。工業用水道施設は、大分県企業局大津留浄水場、受水企業は新日鐵住金をそれぞれ視察し、2日間の大会を盛会理に終了した。

## (1) . 2 経営委員会・技術委員会の合同委員会

日 時 平成25年5月8日(水) 14:00～16:20

場 所 東京水道橋 東京学院 2階 会議室

出席者 経営委員会鈴木委員長、技術委員会綾委員長 ほかに24名

来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほかに1名

総務省公営企業経営室 笠井課長補佐 ほかに1名

次 第 開 会

委員の紹介

委員長の選任

議 題

- 1) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループについて(報告事項)
  - 平成24年度活動報告について
- 2) 工業用水道維持管理指針検討小委員会の設置について
- 3) 平成25年度工業用水道事業研究大会における検討課題の選定について
- 4) 平成26年度工業用水道事業施策要望について
- 5) その他

### 概 要

経済産業省浜野工業用水道計画官、総務省笠井課長補佐からそれぞれご来賓の挨拶を頂いた後、経営委員長に茨城県企業局鈴木業務課長、技術委員長に綾顧問を選任し、「平成25年度工業用水道事業研究大会の課題等」、「平成26年度工業用水道事業施策に関する要望事項」等について、審議が行われた。

その結果、研究大会については、第1日目はこれまでと同様に事例紹介等を行い、第2日目は大分県企業局様のご協力を頂き工業用水道施設等の視察を行うこととした。指定課題は3件、自由課題は6件となった。

また、工業用水道維持管理指針検討小委員会の設置が承認された。小委員会の構成は学識経験者3名、事業体委員3名、関連産業会員委員3名とし、今後平成26年1月に予定されている理事会前までに1、2回開催し、平成26年度の改正を目指すための工程、内容等の骨格をとりまとめ、合同委員会に報告するとともに、理事会に報告することとした。

施策要望事項については、一部表現等の修正が行われ、審議結果に基づき委員長、事務局で調整後、合同委員会に報告するとともに、理事会、総会に提出することとした。

(1) . 3 工業用水道維持管理指針検討小委員会

(1) . 3. ① 工業用水道維持管理指針検討小委員会（関連産業会員委員）

（第1回）

日 時 平成25年9月11日（水）15：00～17：30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 （株）日水コン高山企画部長、日本上下水道設計（株）大嶽副部長、（株）クボタ鉄管研究部林課長、水ing（株）伊藤副統括、（株）日立製作所齊藤技師、事務局3名

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

- 1) アンケート結果報告について
- 2) 目次案について
- 3) その他

概 要

出席委員の紹介に引き続き、事務局が進行役となり、各議題の審議を行った。

その結果、アンケート結果は最終集計を小委員会に報告することとし、目次案については、ほぼアンケート結果が反映されていると考えられ、総論等をはじめ一部の修正を行い、小委員会に提示することとした。

また、アンケートから、図解・事例を可能な限り紹介する方向でとりまとめていくこと、ダウンサイジングについて、設計指針での対応が適していると考えられ、今回の改訂では取り扱わないこと等を確認した。

分冊化については、アンケート結果でも意見が同数であったことから、小委員全員の意見によることとし、当面は分冊化の前提は行わないことを確認した。

(1) . 3. ② 工業用水道維持管理指針検討小委員会（第1回）

日 時 平成25年11月13日（水）13：10～17：30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 綾顧問 ほかに14名

来 賓 経済産業省産業施設課福井係長

次 第 開 会

委員の紹介

委員長の選出

議 題

- 1) アンケート結果報告について
- 2) 目次案について
- 3) その他

概 要

出席委員の紹介に引き続き、綾顧問を委員長に選出し、委員長挨拶に引き続き各議題の説明、審議が行われた。

事務局から、小委員会の設置の背景並びに今後の大凡のスケジュールを報告し確認を行った。

綾委員長から工業用水道施設の現状並びに施設の運転状況等の説明が行われ、引き続き提出資料の説明等の後、目次案の審議が行われた。

その結果、改正作業は分冊化を前提とはせず進めていくこととし、具体的な改訂作業の中で検討していくこと、水道維持管理指針等既存文献等の参考とする箇所の明示、関係法令の充実、電子データも含めた更新等の必要性の明示、コンクリート構造物等の劣化対応策・劣化診断方法等の追加、省エネルギー対策としての技術の紹介、過去の資料等からの事例等の充実などを行っていくことを確認した。

また、来年度の具体的な検討にあたり、現在の小委員会で対応していくことも確認し、技術委員会への報告、意見聴取、調整等をはかりつつ進めていくことも確認した。

(1) . 4 関連産業委員会

(1) . 4 . ① 関連産業委員会 (第1回)

日 時 平成25年5月17日 (金) 16:30~18:00  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 本山日本ダクティル鉄管協会理事長 ほか14名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
次 第 開 会  
議 題  
1) 事業・会計報告  
2) 平成25年度協会事業の概要等  
3) その他

概 要

本山委員長の挨拶に引き続き、ご来賓の経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官から挨拶を頂いた。引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

事業・会計報告については、平成24年度関連産業委員会収支決算報告(案)、平成25年度関連産業委員会事業計画(案)及び収支予算(案)がそれぞれ原案どおり了承され、9月5~6日に三重県企業庁の協力のもと、工業用水道施設の視察及びユーザーの視察が確認された。

平成25年度協会事業の概要等として、当該年度の協会事業計画の報告と資機材の備蓄情報に関する中間報告等を行った。

(1) . 4 . ② 関連産業委員会 (第2回)

日 時 平成25年9月5日 (木) 13:00~18:00  
場 所 四日市市シティーホテル 会議室  
出席者 委員長 本山日本ダクティル鉄管協会理事長 ほか16名  
来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか1名  
三重県企業庁 森工業用水道事業課長 ほか1名

概 要

三重県企業庁のご協力を得て9月5日四日市市内の四日市市シティーホテルにおいて、関連産業委員会を開催した。

関連産業委員会に先立ち、東ソー(株)四日市事業場及び三重県企業庁北伊勢工業用水道山村浄水場の施設視察を行った。

関連産業委員会は、本山委員長の挨拶に引き続き、地元三重県企業庁森工業用水道事業課長の挨拶を頂いた。引き続き、ご来賓の経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官から、挨拶と「工業用水道をめぐる最近の動き」と題して講話を頂いた。

(1) . 4 . ③ 関連産業委員会 (第3回)

日 時 平成26年3月18日 (火) 15:00~16:30  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 本山日本ダクティル鉄管協会理事長 ほか12名  
次 第 開 会  
議 題

- 1) 協会会員名簿のホームページ掲載への移行と広告掲載について
- 2) 工業用水道事業研究大会での関連産業会員の技術紹介について
- 3) その他(報告事項)

## 概 要

本山委員長の挨拶に引き続き、引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

出版物の会員名簿における広告はこれまでどおりとすることを確認し、ホームページに掲載する場合は、平成26年度は試行とすることから無料掲示とするが、掲示希望の場合は掲示希望者が作成したものとするを原則とすることを確認した。

関連産業会員の一部から自社の技術を事業者会員などへ紹介する場の提供について提案があり、当該委員会として工業用水道事業研究大会での実施希望を技術委員会・経営委員会の合同委員会に提案していくこととした。

### (1) . 5 編集委員会（後述の編集委員会第4回参照。）

日 時 平成26年1月20日（月）14：30～17：00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか15名

#### 概 要

平成25年掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第49回研究発表会（平成26年2月）の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

### (1) . 6 研究発表会（第49回）

日 時 平成26年2月27日（木）・28日（金）

場 所 東京市ヶ谷 自治労第1会館

参加者 100名

来 賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官

#### 概 要

編集委員会小泉委員長の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官からの挨拶を頂いた。次に1年間の協会誌「工業用水」に掲載された論文の中から優れた論文に対し会長表彰する論文賞として、小泉編集委員会委員長から「緩速ろ過の一次粗ろ過による前処理実験」、「札幌市の酸性雨・酸性雪調査」に対しそれぞれ賞状と副賞が授与された。次に、日刊工業新聞社賞を同社小松総務局総務部長から「緩速攪拌装置フレームフロキュレータの水道施設への適用」に尽力された水ing（株）に賞状と記念品が贈られた。

続いて、研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか16件の研究発表並びに活発な質疑応答が2日間にわたって行われた。

### (1) . 7 情報の提供関連

平成25年7月に、同年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び（独法）水資源機構に情報提供を行った。

あわせて事業者会員等には、メールで工業用水道の給水状況の情報並びに工業用水料金一覧を整理し情報提供を行った。

### (1) . 8 水道分野における官民連携推進協議会関連

（厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催）

#### 概 要

我が国の水道分野（水道事業及び工業用水道事業）を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、これらの課題に対して、広域化の推進や官民連携、水道事業と工業用水道事業との連携など地域の実情を勘案し、多様な形態により運営基盤の強化を推進するこ

とが不可欠であり、厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を以下の体制で開催した。

実施体制 主催 厚生労働省、経済産業省

共催 (社)日本水道協会、(社)日本工業用水協会

本取組は、「水道分野における関係者連絡会議」における活動の一環

#### 開催状況

##### 第1回協議会

平成25年 7月24日(水) 北海道札幌市 参加129名

##### 第2回協議会

平成25年 9月27日(金) 都内中央合同庁舎講堂 参加113名

##### 第3回協議会

平成25年11月15日(金) 滋賀県大津市 参加122名

##### 第4回協議会

平成26年 2月13日(木) 香川県高松市 参加119名

## (2) 出版に関する事業

### (2) .1 編集委員会

#### (2) .1. ① 編集委員会(第1回)

日時 平成25年6月5日(水) 14:00~16:00

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか14名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

#### 次第 開 会 議 題

- 1) 編集委員会運営要領細則について
- 2) 2013年後半各号の編集について
- 3) 本誌の作成方法等について
- 4) その他

#### 概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

編集委員会運営要領細則は、委員の定年制、副委員長の設置、選任方法、編集顧問の位置づけの明確化などが明記されており、附則の登記の日にH25.4.1を明記することとし、ほかについては原案どおり了承された。

2013年後半各号の編集については、論文の査読結果を確認し、新着原稿の査読について依頼した。

本誌の作成方法等については、原稿の冊子体を基本に、電子版とした場合の収入確保策等を検討することとした。また、出版収支の検討を加え、ページ減とした場合の印刷費等を再検討することとした。

#### (2) .1. ② 編集委員会(第2回)

日時 平成25年8月20日(火) 15:00~17:00

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか13名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 2013年度後半各号の編集について
- 2) 本誌の作成方法等について
- 3) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

2013年度後半各号の編集については、論文の査読結果を確認し、新着原稿の査読について依頼した。11月号については、水質試験特集の投稿予定論文の査読を急ぎ対応することとした。

本誌の作成方法等については、印刷費の見直しにより、相当の削減が見込まれる報告を受けて、当面は現在の形態を維持することとするが、掲載内容、論文の取り扱い等及び電子版化については引き続き検討することとした。

(2) . 1. ③ 編集委員会 (第3回)

日 時 平成25年11月13日(水) 10:30~12:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学名誉教授 ほか14名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井工業補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 本誌の作成方法について
- 2) 2014年前半各号の編集について
- 3) 第49回研究発表会の予定について
- 4) 論文賞選考要領の改正について
- 5) その他

概 要

小泉委員長挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

本誌の作成方法等については、電子版化(要旨の公表方法等)について引き続き検討することとした。

2014年前半各号の編集については、1月号掲載予定の新着原稿の査読について依頼した。3月、5月号については、掲載予定の内容を報告した。

第49回研究発表会の予定について、現時点で集まっている発表論文数等、実施予定の概要、引き続き発表論文を集めて行く旨報告した。

論文賞選考要領の改正については、一般社団法人日本工業用水協会論文賞表彰規程の第7条(補則)により、論文賞選考要領の改定案の審議が行われ、被表彰論文等が複数ある場合、何れかを「奨励賞」とすることができる改正を行うこととした。

また、論文等の掲載を促すため、英文名を「Journal of Industrial Water」に変更することとした。

(2) . 1. ④ 編集委員会 (第4回)

日 時 平成26年1月20日(月) 14:30~17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか15名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

## 次 第 開 会 議 題

- 1) 論文賞の選考について
- 2) 2014年前半各号の編集について
- 3) 論文要旨等のホームページ掲載について
- 4) 第49回研究発表会について
  - (1) 日刊工業新聞社賞
  - (2) プログラムの編成等
- 5) その他

## 概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

(論文賞並びに日刊工業新聞社等研究発表会関連は、(1).5.参照。)

2014年前半各号の編集については、3月号掲載予定の新作原稿の査読について依頼した。5月、7月号については、掲載予定の内容を報告した。

論文等の要旨内容については、論文等以外でも要旨があるものは一括で整理し、原則発表されたものの要旨を協会ホームページにそのまま掲示することを確認した。

## (2).2 出版図書

- ・会誌「工業用水」平成25年5月～平成26年3月号 (No. 618～623)
- ・工業用水道実務必携 (2013) を発行

## (3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

### (3).1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

(株)クボタほか3件の認定更新申請があり、事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設置、検査法、品質管理等について審査を行った結果、認定工場として承認した。

また、コスモ工機(株)秋田工場について、千葉県、茨城県、横浜市の認定委員による現地調査等を実施し、認定委員による審査が行われ、新たに認定承認されている。

### (3).2 管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(公社)日本水道協会に委託して行った。

## (4) 受託調査等

河川整備基金助成事業「取水施設のある河川景観画像整備とその普及啓発」について、事業者会員からご協力を頂き、取水施設等関連する写真等提供されたもの等の整備を行い報告書にとりまとめるとともに、その成果を協会ホームページで公表した。